

II 暮らしの向上

2 医療の充実

主担当部局(長)名
医療政策部長 林 修一郎

目指す姿

必要な医療を適切に受けられる体制を構築するため、最初から最後まで切れ目のない医療提供体制を構築し、個々の県民が最適のケアを選択する機会と情報の提供を行い、県民が納得できる医療を提供します。

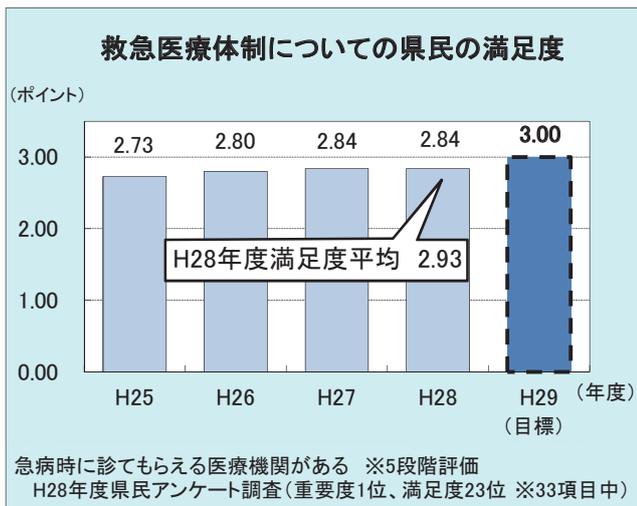


奈良県ドクターヘリ

これまでの成果

- ・救急車による搬送に時間を要する重篤患者に対応するため、奈良県ドクターヘリの運航を開始しました。(H29年3月)
- ・南奈良総合医療センターの開院(H28年4月)により、南和地域の救急医療体制が強化されました。(救急搬送受入件数:1日平均5.7件(H27年度)→11.2件(H28年度))
- ・東和保健医療圏に引き続き、橿原市・高取町・明日香村において入退院調整ルールを策定し、病院から地域へシームレスな在宅移行ができる環境づくりを進めました。

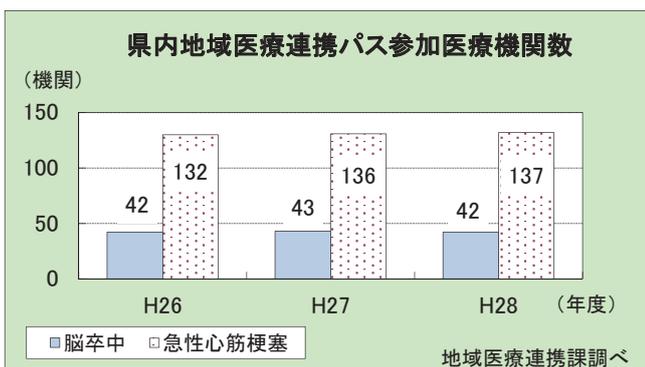
1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	平成29年度までに、県民アンケート調査(H25年度)で重要度が高かった項目の満足度のポイントを向上させます。 ・急病時に診てもらえる医療機関があること(2.73ポイント→3.00ポイント)
取組	救急電話相談(#7119,#8000)の実施、小児二次輪番病院、一次応急診療所の広域運営支援を行いました。
成果	2つの電話医療相談、一次応急診療所への支援等を継続して実施していること等により、救急医療体制についての県民の満足度は上昇しています。(H28年度県民アンケート満足度:2.84ポイント)

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	<ol style="list-style-type: none"> ①平成30年度までに、高度医療拠点病院にふさわしい施設・機器を整備します。 ②平成30年度までに、24時間365日の救急搬送受入を可能とするER型救急医療体制を北和地域と中南和地域において構築します。 ③平成29年度までに、医療介護連携ネットワークシステムを県内で一部試行させます。
------	---



取組	脳卒中、急性心筋梗塞について医療機関の役割分担を図るため、地域連携パスの取組を推進しました。(③)
成果	脳卒中の地域連携パスの平成28年度の参加医療機関数は、前年度と比べ若干減少したものの、発行件数は維持しています。また、急性心筋梗塞の地域連携パスの参加医療機関数は増加しており、パス運用も定着してきています。